



静岡商工会議所 会頭  
酒井 公夫  
静岡鉄道㈱ 代表取締役会長

## 従来の枠にとらわれず、迅速かつ果敢にチャレンジ

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、会員の皆様のご健勝とご繁栄を心からお慶び申し上げます。

さて、昨年のわが国経済は、緩やかな回復基調が続きました。実質GDPは7四半期連続でプラスとなり、また景気拡大の長さとしては、高度成長期のいざなぎ景気を超えて戦後2番目の長さになるなど、全体としては安定した一年でありました。

一方、有効求人倍率はバブル期の水準を上回るなど、業種を問わず人手不足が深刻な課題となっております。企業の人材確保の強化は勿論ですが、労働力の構造的減少に対応するため、

女性や高齢者の活用や働き方改革、ITツールの導入等による生産性向上が不可欠となっております。

また、中小・小規模企業の減少が続く、最近の5年間で約40万社が減少しています。倒産ではなく後継者難から廃業するケースが多く、また廃業する企業の約5割が黒字と言われており、わが国全体の経済や雇用への影響が懸念されています。経営者の高齢化の進展により、今後さらに加速する後継者難を理由とする廃業を防止するため、事業承継税制の拡充やM&A市場の整備など、総合的な取組みが求められています。

当会議所では、企業のあらゆるライ





フステージ（創業・成長・発展・承継）に対応した専門の相談体制を整えており、特に中小・小規模企業への伴走型支援を強化しているところです。今後とも、地域全体で円滑な事業承継を推進する環境づくりを進めてまいります。

人材確保の支援としましては、「就活サポートシステム」の周知・普及や、企業情報カルテの収集・発信などの採用活動への支援を本格化するとともに、首都圏を中心とした都市部のプロフェッショナル人材と地域企業とのマッチングを強化しております。

昨年2月からは、単なる消費喚起ではなく、「ワークライフバランスの推進」や「ライフスタイル向上」といった暮らしの充実、働き方改革を目指す「静岡県プレミアムフライデー」に取り組んでおり、今年も官民一体となって推進してまいります。

また、サービス産業事業者の生産性向上、サービス品質を見える化する「おもてなし規格認証」の認証機関に、全国の商工会議所の中では唯一指定されています。昨年から本制度を経営支援のツールとして活用し、県内企業の経営力向上を支援しており、今年も県内会議所や金融機関等との連携のもと実施してまいります。

このように、今後も地域企業が抱える経営課題については、従来の商工会議所活動の枠にとらわれず、迅速かつ果敢にチャレンジしていく所存です。

この他にも、会員企業の新事業活動や販路開拓、ITやIoT、クラウド等の利活用の推進、企業や地域の人材育成、歴史や海洋文化など静岡清水両地域の特性を活かしたまちづくりなど、今年度からスタートした第3次中期行動計画の「企業づくり」「人づくり」「地域づくり」「基盤づくり」の施策に基づき、地域企業の持続的発展や交流人口拡大への取り組みに力を入れてまいります。

来年は、今川義元公生誕500年や清水港開港120周年を迎えるほか、ラグビーワールドカップが開催されます。また、中部横断自動車道の整備も進んでおり、こうしたものを当地域の活性化につなげるよう、しっかりと準備してまいります。

本年も、役員員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。次第です。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

